

躍進

新琴似中学校
学校だより

令和8年度 第7号

令和8年9月28日

「可愛い」から「自立」へ ～自分で決断し、歩み出す力を育む～

1 学年 副主任

本当に可愛らしい子どもたちだと感じている。入学したときから、今でも思う。邪気がなく、素直。間違ってしまうこともあるが、きちんとこちらの考えを伝えると響く。思いやりのある優しい子たちだな、と関わったほとんどの大人が感じるだろうし、ここまで育ててくださった小学校や保育園、幼稚園の先生、何より保護者の皆様には、本当に頭が上がらない。

しかし、いつまでも可愛らしいだけではいけない。2年後には、もう自分の意志で自分の人生を動かしていかなければならない。そのための知識、能力、そして自己理解が必要になる。

自分自身を理解する過程は、楽しいことばかりではない。【自分】という、自分自身の目や感覚ではなかなか捉えられないものを捉えるために、どうしても他者との比較をせざるを得ない場面が出てくる。【他者より優れている】という結果が自信につながる事もあるが、特定の領域に関してだけだとしても【他者より劣る自分】を受け入れなければならないときもある。抱いていた理想とかけ離れた自分の姿に打ちひしがれる場面もあるかもしれない。中学生としての感性を備えるまでに成長した12・13歳の彼ら彼女らは、成績、部活動、人間関係などで、ひょっとしたら人生で初めてそのような経験をすることになる。

そのとき、私たちは何をしてあげられるだろうか。「現実の厳しさを乗り越えろ!」と叱咤激励するのか、「私たちもそうやって生きてきた」と寄り添うのか、「見たくないものは見なくていいんだよ」と心を守る方法を教えるのか、それとも、特に言葉をかけることなく本人の判断に委ね見守るのか…。おそらく絶対的な正解はないし、どれを選んでも後悔をする部分は出てくるのだろう。だからこそ、まずは私たちが「あなたのことを本当に大切に思っている私は、こういう判断をしたよ」と、自信があってもなくても【自分で責任をもって判断した】背中を見せることそのものが大切なのではないだろうか。

子どもでも大人でも、生徒でも親でも教員でも、間違えることはあるし、ぶつかることもある。でも、だからこそ私たちは一人一人の生徒を尊重していきたい。軽んずることなく、過度に保護することなく、一人の人として尊重していきたい。私たち1学年教師陣は【一人一人が自分で決断できる学年】というミッションを掲げている。であれば、生徒一人一人が自分で決断をする手伝いはしても、その決断に対して過度に口出しをしすぎないようにすべきだ。大人目線で見て「その決断は近い将来、後悔しそうだな…」と思っても無理にこちらの考えを押し付けない。他者の権利を侵害してしまったり、生徒が健全に成長するための基盤を揺るがすようなルール違反でもない限り、基本的には大人の胆力を発揮して我慢をすべきだ。

とは言えアドバイスくらいはしてあげたほうが良いのではないかな……さすがに防げる失敗を目の前でさせるのは忍びないかな……でも本人が悩み抜いて決めたことだし……可愛らしさというのは、本当に罪なものである。

こんなに可愛らしい生徒たちと日々ともに過ごすことができる幸せを噛み締めながら、【可愛いだけではない】人たちに成長し、巣立っていくサポートをこれからも全力でさせていただきます。今後も新琴似中学校の教育、並びに1学年の活動等へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

～中学校生活の折り返し地点～

バトンを受け継ぎ、新しいリーダーへ

2 学年 副主任

厳しかった夏の暑さもようやく和らぎ、朝夕の涼しさに確かな秋の訪れを感じる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。長い夏休みが明けてから早いもので一ヶ月が経ちましたが、二年生の生徒たちは、中学校生活の折り返し地点という重要な時期を、一日一日とても濃密に、そして力強く歩んでいます。

この一ヶ月の間、学年には大きな節目が立て続けに訪れました。まずは夏休みの学習の成果が試される「定期テスト」です。テスト前には、昼休みにも熱心に教科書を開いて問題を解いたり、互いに教え合ったりする姿がありました。二年生になり、学習に対する向き合い方が「自分の進路を意識したもの」に変わってきている生徒も多く見られるようになってきています。

また、8日には生徒会役員選挙が行われました。三年生からバトンを受け継ぎ、学校の新しいリーダーを決めるこの選挙に向けて、立候補した生徒たちはもちろん、それを支える応援責任者や学年全体に、これまでにない緊張感が漂っていたようにも思います。演説会当日、壇上に立った候補者たちが「この学校をより良くしたい」と堂々と公約を掲げる姿は実に立派でした。また、それを真剣な眼差しで聞き入る生徒たちの姿も含め、学年全体が「自分たちがこれからの学校を引っ張っていくんだ」という意識を強く持つ素晴らしいきっかけとなりました。

そして、現在は「新成祭」へと向かっています。校内からは生徒たちの活気ある声や準備に励む音が響いています。去年は初めてということで、先輩たちの凄さを目の当たりにした行事でしたが、今年は三年生を全力で支え、同時に一年生のお手本となれるような発表、活動を目指していく立場です。時には意見がぶつかったり悩んだりすることもあります。それこそが集団として大きく成長するための貴重な経験です。互いの違いを認め合い、声を掛け合いながら一つの目標に向かって突き進む姿を期待しています。

新成祭後も、「職場体験」「合唱発表会」と新しい取り組みが待っています。多くの経験を得て、次なるステップに進んでくれると思います。

行事が続く心身ともにエネルギーを注ぐ分、疲れが出やすい時期でもあります。学校では「やる時はやる、楽しむ時は楽しむ」というメリハリを大切にしながら、生徒たちが最後まで健康に、笑顔でこの実りの秋を駆け抜けられるよう一丸となってサポートしてまいります。

朝晩の寒暖差が大きい季節ですので、ご家庭におかれましても、お子様の体調管理や温かい見守りをどうぞよろしくお願いいたします。これからの行事を通して、一回りも二回りも大きく成長していく生徒たちの輝く姿を、ぜひ楽しみにしててください。



2026 年 9 月 25 日
体育大会の様子→